

令和 6年度予算見積調書

課室名: 健康長寿課
 担当名: 健康増進・食育担当
 内線: 3585

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
S161	熱中症予防対策強化事業			一般会計	衛生費	公衆衛生費	予防費	地域・職域連携推進事業費			
事業期間	平成28年度～	根拠法令	健康増進法第3条			針路	06	人生100年を見据えたシニア活躍の推進	SDGsゴール	3	
						分野施策	0601	生涯を通じた健康の確保	SDGsターゲット		
<p>1 事業の概要</p> <p>熱中症のハイリスク者である高齢者等を対象とした草の根的な熱中症予防対策を行う市町村や企業と連携し、熱中症による救急搬送者数の減少と死亡者「ゼロ」を目指す。</p> <p>熱中症予防対策強化事業 8,929千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>熱中症予防対策強化事業 8,929千円</p> <p>ア 効果的な熱中症予防対策支援事業 (8,071千円)</p> <p>イ 熱中症予防啓発事業 (858千円)</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>熱中症予防対策強化事業</p> <p>ア 効果的な熱中症予防対策支援事業</p> <p>熱中症のハイリスク者である高齢者等を対象とした草の根的な熱中症予防対策等効果的な熱中症予防対策及び気候変動適応法に基づき避難暑熱施設の設置準備を行う市町村に対して、必要経費を補助することで、熱中症予防対策の更なる強化を図る。</p> <p>イ 熱中症予防啓発事業</p> <p>熱中症予防の啓発用資材を作成し、県民に配布したり、各種イベントで熱中症予防を呼び掛けることで注意喚起を促す。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>県内全域での啓発活動や草の根的な熱中症予防活動を強化することで、熱中症の発症や重症化を予防することで、熱中症による救急搬送者数・死亡者の減少を図る。</p> <p>【活動指標(アウトプット)】熱中症予防対策支援事業補助金活用26市町村、まちのクールオアシス協力施設9,500施設</p> <p>【成果指標(アウトカム)】暑熱避難施設52施設、行政による注意喚起の認知率増加(参考 令和5年度県政サポーターアンケートにおいて、県の取組で知っているものはないと回答した者61.7%)、高齢者等熱中症ハイリスク者に対する外部からの見守りの増加</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況</p> <p>学校や市町村、関係機関等の講習会開催にあたっては、健康づくりに関する包括協定を締結している大塚製薬株式会社に協力を依頼する。</p> <p>また、民間企業等の協力による「まちのクールオアシス」事業を実施する。</p>							
<p>2 事業主体及び負担区分</p> <p>(県10/10)</p>											
<p>3 地方財政措置の状況</p> <p>なし</p>											
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</p> <p>9,500千円×0.7人=6,650千円</p>											
予算額		財源内訳							一般財源	前年との対比	
		繰入金									
決定額	8,929							8,929	0		
前年額	8,929	8,929						0			

事業内訳書

事業名	熱中症予防対策強化事業		
単位事業名	熱中症予防対策強化事業	予算額	8,929千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
繰入金・ 健康づくり安心基金繰入金	0	△8,929	
一般財源	8,929	8,929	
合計	8,929	0	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	30	0	研修会講師謝金 1人分
旅費	24	△6	連絡調整費 30回分
需用費	458	8	事務費、ステッカー印刷代
役務費	410	0	郵送料
使用料及び賃借料	7	△2	研修会会場使用料 1回分

単位事業名	熱中症予防対策強化事業	予算額	8,929千円
-------	-------------	-----	---------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	8,000	0	市町村への補助金
合計	8,929	0	